

第五十一回
貴族院議會

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號

委員氏名

委員長 伯爵柳澤 保惠君
副委員長 男爵斯波忠三郎君

伯爵柳澤
男爵斯波忠三郎君
子爵大河内正敏君
子爵八條 隆正君
子爵渡邊 千冬君

本會議ニ於キマシテ詳細ニ御説明ヲ申上ダ
タノデアリマスルガ、私ハ多少ソレヲ補足
イタシテ、尙ホ前文其他ニ付キマシテ御説
明ヲ申上ダタイト考ヘマス、先ゾ關稅定率
法ノ前文ノ改正ニ付キマシテ申上ダタイト
考ヘマスルガ、此前文ハ關稅ノ賦課減免及

伴ヒマシテ、矢張リ我國ニ於キマシテモ、此規定ヲ設ケテ置クコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス、第二ニ付キマシテハ、第七條中ニ於キマシテ四五ノ改正ヲ致シタノデアリマスガ、先づ第六號ニ付キマシテハ、大公使、ニ本邦ニ參ッテ居リマス大公使ノ自用品、又大公使館ノ公用品ニ關シマシテ免稅ノ規定デアリマスガ、是ガ今日ニ於キマシテハ大使、公使ト云フ處ニ限リ

付キマシテハ、専門學校ニ致スト云フコトモ、實際、今日取扱ヲ致シテ居ル上ニ於マシテ、色ニ希望モ請願等モアルノデアリマス、少シ狹キニ失スルヤウニ感ジマスノデ、是ハ私立ノ學校ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ指定イタシマシタ所ノ私立ノ學校ニ付キマシテハ、之ヲ適用スルト云フ風ニ擴ダタノニアリマス、大體、此規定ハ一面力ラ申シマスルト、前申上ダマシタヤウニ狹イ感ジガアリマスガ、又或點ニ於キマシテハ非常ニ廣ク相成^ツテ居ルノデアリマス、

今日、此陳列スル標本又ハ「参考品ト云フ
コトデ輸入ヲ致スノデゴザイマスガ、是ガ

實際、稅關ニ於キマシテ、此規定ヲ適用ス
ル上ニ於キマシテ、從來屢々是ガ惡用セラ

レル弊かアルノテアリマス。標本或ハ参考品ト申シマシテ、實際ニ於キマシテハ、個人ノ使用セラル、ヤウナ物、或ハ参考品ト

カ標本ト認メルコトガ不適當ナル品物ガ
這入ツテ來ルコトガアルノデアリマス、從

テ一方ニ於テ適當ナ稅率ヲ設ケマシテ、内地ノ產業ヲ保護シナガラ、一方ニ於テ斯ノ

如ク規定ガ濫用サレルヤウナコトガアリマ
シテハ、其目的ヲ達スルコトガ出來ナイコ

トニ相成リマスカラ、是ハドウシテモ期目
的ニ副フヤウニ致サナケレバナラヌト云フ
風ノ考カラ致シマシテ、之ニ付キマシテハ

大藏大臣ガ認可シタモノニ限ル、サウシテ
此各稅關ニ於キマシテ

〔委員長伯爵柳澤保恵君委員長席ニ著ク〕

同時ニ、一方ニ於キマシテハ此規定ノ適用ヲ嚴正ナラシムト致スノデアリマス、ソ

貴族院關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號 大正十五年三月十一日

レカラ十一號ニ付キマシテモ、是モ矢張リ十號ト同ジヤウニ、實際ノ取扱上ニ於キマシテ、從來屢々問題ヲ生ズル規定デアルノデアリマス現行ノ規定ガ稍抽象的ニナッテ居ル結果ト致シマシテ、此免稅ノ範圍ニ付キマシテ、往々ニシテ各稅關ノ間ニ取扱ノ統一ヲ缺クト云フ風ノコトガ生ズル虞レガアルノデアリマス、又寄贈者ト稅關トノ間ニ屢々紛議ヲ起ス事例ガアルノデアリマス、斯ノ如ク外國カラ參リマシテカラ後ニ紛議ヲ生ズルト云フヤウナコトハ、成ルベク之ヲ避ケルコトが必要デアリマス、從テ成ルベク其範圍ヲ明カニシタイト云フ趣旨カラ致シマシテ、其範圍ト使途ニ付キマシテ稍々具體的ニ之ヲ規定イタシタノデアリマス、是ハマニア從來ニハ多少濫ニ流レルト云フ風ナ弊ガアリマシタノデ、其點ヲ明カニ致シタイト云フ趣旨デ規定ヲ致シタ次第アリマシテ、是ハ新規定デアリマルガ、是等モ矢張リ人ノ精神生活ノ上ニ貢獻スルコトト考ヘルノデアリマシテ、是等モ矢張リ十二ト同ジヤウニ、此式典用具トカ、或ハ禮拜用具トカ云フヤウナモノニ付キマシテハ免稅ヲスルコトガ適當デアラウ、從來斯ウ云フモノガ參リマシタ時ニハ屢々問題ガ起シタノデアリマス、ソレデ茲ニ明カニ致シタイ趣旨ヲ以テ規定ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ第五ハ、十五號デアリマス、是ハ本邦ノ在外ニアリマス公館カラノ送還品在外公館カラノ物モ免稅イタシタイ、是ハ内地カラ持テ行ツタル物ヲ送り還スモノニアリマス、其次ニハ二十號ノ改正デアリマスヲ免稅スルコトニ改正イタシタノデアリマス、從來ハ此軍除トカ軍艦ノ送還品ハ免稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ト權衡上、

ルガ、是ハ外國航行ノ艦船ニ船用ノタノイ物
品ヲ、從來ハ開港内ニ於テ引渡ス物品ニ限シ
テ居タノデアリマスガ、是ハ從來實際ニ
居タノデアリマスガ、是ハ從來實際ニ
シテハ實際上ニ於キマシテ、必シモ開港ニ
限ル必要ハナイ、開港外ニ於キマシテモ引
渡スト云フ事例ハ少クナインデアリマスカ
ラ、此場合ニ於キマシテモ、矢張リ免稅ヲ致
シタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、規定ヲ改
正イタシタノデアリマス、唯、但書ヲ追加
イタシマシタノハ、但書ニ當リマス物ハ是
八十條ニ依リマシテ免稅ヲ致ス規定ニナシ
テ居リマスカラ、左様ナ物ハ十條ノ規定ニ
依ツテ取扱フコトガ適當ト考ヘマスカラ但
書ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ二十二
號ノ改正ニ但書ヲ加ヘタノデアリマスガ、
是ハ現在ニ於キマシテ規定ガ不備デアッタ
ノデアリマス、デ此機會ニ於テ之ヲ改メタ
ノデアリマス、是ハ免稅ヲサレテ居ルモノ
デアリマスルカラ、是ガ再ビ入ツテ參リマ
シタヤウナ場合ニ於キマシテハ、課稅スル
コトガ適當ナノデアリマス、從來ガ不備デ
アッタノデアリマス、ソレカラ六號ノ二…
第八條ニ付キマシテ六號ノ二ヲ追加イタシ
マシタノハ、是ハ輸入ノ日カラ一年以内ニ
再ビ輸出スルモノニ付テ、輸入稅ヲ免除ス
ルモノデアルノデアリマスガ、ソレハ製作
見本品トシテ輸入サレルモノ、即チ製作ノ
注文ヲシテ參リマスル時ニ見本品トシテ寄
越シタモノニ付キマシテ、之ヲ免稅スルト
ハ免稅ヲ致シタイト云フ考デ追加イタシタ
ノデアリマス、ソレカラ第九條ニ付キマシテ
見本品トシテ輸入サレルモノニ付キマシテ
ノ改正デアリマスガ、是ハ別表ノ關稅率ノ

改正ニ伴ヒマシテ多少變更ヲ要スルコトニ相成タノデアリマス、其中ニ付キマシテ、現在亞鉛華ニ付キマシテ亞鉛華ヲ製造イタル亞鉛ニ對シマスル免稅又ハ拂稅ヲ致シテ居タノデアリマス、之ヲ削リマシタノデアリマス、是ハ御承知ノ通り昨年ノ三月十日ヲ以チマシテ英吉利トノ協定ガ無クナッタノデアリマス、協定ノアリマスル際ニ於キマシテハ亞鉛華ニ對シマシテ、内地ノ亞鉛華製造ニ對シマシテ保護ヲ致スト云フ目的ヲ以テ稅率ヲ盛ル場合ニ於キマシテモ「ペイント」ニ關シマシテ、亞鉛華ヲ以テ製造イタシマスル「ペイント」ニ付キマシテ、英吉利トノ間に協定ガアリマシタ結果ト致シマシテ、亞鉛華ノミノ稅率ヲ上ダルト云フコトガ出來ナカタノデアリマス、從テ亞鉛華ノ稅率ヲ上ダテ保護スル代リニ、亞鉛華ニ使用イタシマスル亞鉛ニ對スル稅ヲ免除スルト云フコトニ相成タノデアリマスルが、昨年ノ三月十日ヲ以チマシテ協定ガ無クナリマシテ、「ペイント」ニ對シマシテモ今回適當ナ稅率ヲ盛リ得ルコトニ相成タノデアリマス、從テ亞鉛華ニ付キマシテモ適當ナ稅率ヲ盛リ得ルコトナッテ、内地ノ產業ニ對シテ必要ナ稅率ヲ盛ルコトガ出來ルヤウニナツタノデアリマスカラ、特ニ亞鉛ニ對シテ免稅ヲスル必要ガ無クナッタノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ削除イタシタノデアリマス、茶鉛ニ付キマシテハ、是ハ、輸出茶包装ニ用キルノデアリマステ、輸出サレル品物デアリマスルカラ之ニ付キマシテハ、成ルベク之ヲ安ク供給スルト云フコトニ努メルコトガ必要ト考ヘタノデアリマシテ、茶鉛ヲ捨ヘマス場合ニ於キマシテハ、ソレノ原料タル鉛ニ對シテ課稅ガ出来ルヤウニ茶鉛ヲ新ニ追加イタシタノデア

「ミリメートル」ヲ超エザル亞鉛薄板ニ對シ
マスル條件ヲ改メマシタノデアリマシテ、
ガ、是ハ主トシテ此燐寸等ノ包裝トシテ輸
出サレテ居ルト云フ趣旨カラ出來テ居タ
ノデアリマスルケレドモ、今日ニ於キマシ
テ實際輸出ニ使ハレマスル所ノモノハ零
「コムマニ」五「ミリメートル」デナクシテ、
モット薄イ所ノモノデアルト云フ狀態ニア
ルノデアリマス、ソレ故ニ輸出ノ包裝ニ相
成リマスルモノノ範圍内ニ於テ之ヲ免稅ヲ
スルト云フコトニ致セバ宣シイノデアリマ
ス、ソレヲ範圍ヲ擴ダマスト云フコトハ適
當デナイト考ヘマシテ、零「コムマ」一七
「ミリメートル」ト云フコトニ改メマシタノ
デアリマス、ソレカラシテ次ハ「油又ハ油
糟ノ製造ニ使用スルモノ」ト云フコトニ致
シタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ
「肥料ノ製造ニ使用スルモノ」ト云フコトニ
相成テ居ルノデアリマス、是ハ大體油糟
ハ無論肥料ニ使ハレマスガ、肥料ト限定イ
タシマセヌデ、内地ノ產業ノ狀況、即チ原
料ノ内地ノ生産ノ狀況等ヲ考慮イタシマシ
テ、或物ニ付キマシテハ、油竈ニ油糟ノ製
造ノ事業ヲ容易ニ致シマス爲ニ其原料ガ内
地ノ生産ニ對シテ、之ヲ免稅イタシマシテ
モ、其原料ヲ免稅イタシマシテモ、惡イ影
響ヲ及ボスコトナナイト云フ風ニ考ヘラレ
マスモノニ付キマシテハ、其品物ノ種類ニ
依リマシテ、或ハ油竈ニ油糟ニモ免稅ヲシ、
シタノデアリマス、以上、大體、前文ニ關
シマスル御説明デアルノデアリマス、稅率

ノ改正ニ付キマシテハ、其税率ノ改正ノ趣旨ニ付キマシテハ、過日、大藏大臣ヨリ本議場ニ於キマシテ御説明ヲ申上ダマシタノデアリマシテ、ソレ故ニ是ハ成ルベク省略ヲ致シマシテ、唯、別ノ點カラ少シク申上げテ御参考ニ供シタイト考ヘルノデアリマス、別表ノ此輸入税表ハ御承知ノ通り、相當複雜ナ組織ニ相成テ居ルノデアリマシテ、ソレ故ニ之ヲ或ハ根本的ニ其組織ヲ變更スルト云フコトモ、或ハ適當ニアラウカト考ヘタノデアリマスガ、併ナガラ其別表ハ實施以來、多年ノ間、官民共ニ是ガ利用ニ慣熟イタシテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ當リマシテハ、税目ノ排列、或ハ分類ノ方法ト云フモノニ付キマシテハ大體現在ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、其方が却テ急ニ改正ヲ致シマスル際ニ於キマシテ、實施上、便宜デアラウト云フ風ニ考ヘマシテ、大體ハ現行ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯、此中ニ付キマシテ實際ノ税闇ノ適用上ニ於キマシテ、其品物ガ分類ヲサレテ居リマシテモ、實際ノ適用上、其間ニ區別ガ困難デアルト云フ風ナモノガ間ニアルノデアリマシテ、サウ云フ風ナモノニ付キマシテハ、之ヲ一ツニ合セルトカ云フ風ニ致シタモノモアルノデアリマスガ、現行法ニ於キマシテ別號ニ掲ダマセヌデ、所謂別號ニ掲ゲザル物品ト致シマシテ、相當多額ニ輸入セラレルヤウニ相成テ參リマスルシ、又ハ内地ノ産業ノ關係カラ申シマシテモ、特ニ是等ノ品物ニ對シテ適當ナル特別ノ税ヲ盛ルコトが必要デアルト云フ風ニ考ヘマスモノニ付キマシテハ、之ヲ其號ヨリ引出シマシテ、別ニ其呂目ヲ特掲ヲ致シマシテ、適當ナ

稅率ヲ盛ルト云フ風ニ致シテ居ルノデアリマス、又同種類ノモノニ付キマシテ、或ハ是當複雜ナ組織ニ相成テ居ルト云フ爲ニ稅率表ヲ見テ御参考ニ供シタイト考ヘルノデアリマス、別表ノ此輸入税表ハ御承知ノ通り、相當複雜ナ組織ニ相成テ居ルノデアリマシテ、ソレ故ニ之ヲ或ハ根本的ニ其組織ヲ變更スルト云フコトモ、或ハ適當ニアラウカト考ヘタノデアリマスガ、併ナガラ其別表ハ實施以來、多年ノ間、官民共ニ是ガ利用ニ慣熟イタシテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ當リマシテハ、税目ノ排列、或ハ分類ノ方法ト云フモノニ付キマシテハ大體現在ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、其方が却テ急ニ改正ヲ致シマスル際ニ於キマシテ、實施上、便宜デアラウト云フ風ニ考ヘマシテ、大體ハ現行ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯、此中ニ付キマシテ實際ノ税闇ノ適用上ニ於キマシテ、其品物ガ分類ヲサレテ居リマシテモ、實際ノ適用上、其間ニ區別ガ困難デアルト云フ風ナモノガ間ニアルノデアリマシテ、サウ云フ風ナモノニ付キマシテハ、之ヲ一ツニ合セルトカ云フ風ニ致シタモノモアルノデアリマスガ、現行法ニ於キマシテ別號ニ掲ダマセヌデ、所謂別號ニ掲ゲザル物品ト致シマシテ、相當多額ニ輸入セラレルヤウニ相成テ參リマスルシ、又ハ内地ノ産業ノ關係カラ申シマシテモ、特ニ是等ノ品物ニ對シテ適當ナル特別ノ税ヲ盛ルコトが必要デアルト云フ風ニ考ヘマスモノニ付キマシテハ、之ヲ其號ヨリ引出シマシテ、別ニ其呂目ヲ特掲ヲ致シマシテ、適當ナ

マス、又同種類ノモノニ付キマシテ、或ハ是當複雜ナ組織ニ相成テ居ルト云フ爲ニ稅率表ヲ見テ御参考ニ供シタイト考ヘルノデアリマス、別表ノ此輸入税表ハ御承知ノ通り、相當複雜ナ組織ニ相成テ居ルノデアリマシテ、ソレ故ニ之ヲ或ハ根本的ニ其組織ヲ變更スルト云フコトモ、或ハ適當ニアラウカト考ヘタノデアリマスガ、併ナガラ其別表ハ實施以來、多年ノ間、官民共ニ是ガ利用ニ慣熟イタシテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ當リマシテハ、税目ノ排列、或ハ分類ノ方法ト云フモノニ付キマシテハ大體現在ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、其方が却テ急ニ改正ヲ致シマスル際ニ於キマシテ、實施上、便宜デアラウト云フ風ニ考ヘマシテ、大體ハ現行ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯、此中ニ付キマシテ實際ノ税闇ノ適用上ニ於キマシテ、其品物ガ分類ヲサレテ居リマシテモ、實際ノ適用上、其間ニ區別ガ困難デアルト云フ風ナモノガ間ニアルノデアリマシテ、サウ云フ風ナモノニ付キマシテハ、之ヲ一ツニ合セルトカ云フ風ニ致シタモノモアルノデアリマスガ、現行法ニ於キマシテ別號ニ掲ダマセヌデ、所謂別號ニ掲ゲザル物品ト致シマシテ、相當多額ニ輸入セラレルヤウニ相成テ參リマスルシ、又ハ内地ノ産業ノ關係カラ申シマシテモ、特ニ是等ノ品物ニ對シテ適當ナル特別ノ税ヲ盛ルコトが必要デアルト云フ風ニ考ヘマスモノニ付キマシテハ、之ヲ其號ヨリ引出シマシテ、別ニ其呂目ヲ特掲ヲ致シマシテ、適當ナ

マス、又同種類ノモノニ付キマシテ、或ハ是當複雜ナ組織ニ相成テ居ルト云フ爲ニ稅率表ヲ見テ御参考ニ供シタイト考ヘルノデアリマス、別表ノ此輸入税表ハ御承知ノ通り、相當複雜ナ組織ニ相成テ居ルノデアリマシテ、ソレ故ニ之ヲ或ハ根本的ニ其組織ヲ變更スルト云フコトモ、或ハ適當ニアラウカト考ヘタノデアリマスガ、併ナガラ其別表ハ實施以來、多年ノ間、官民共ニ是ガ利用ニ慣熟イタシテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ當リマシテハ、税目ノ排列、或ハ分類ノ方法ト云フモノニ付キマシテハ大體現在ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、其方が却テ急ニ改正ヲ致シマスル際ニ於キマシテ、實施上、便宜デアラウト云フ風ニ考ヘマシテ、大體ハ現行ノ儘ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯、此中ニ付キマシテ實際ノ税闇ノ適用上ニ於キマシテ、其品物ガ分類ヲサレテ居リマシテモ、實際ノ適用上、其間ニ區別ガ困難デアルト云フ風ナモノガ間ニアルノデアリマシテ、サウ云フ風ナモノニ付キマシテハ、之ヲ一ツニ合セルトカ云フ風ニ致シタモノモアルノデアリマスガ、現行法ニ於キマシテ別號ニ掲ダマセヌデ、所謂別號ニ掲ゲザル物品ト致シマシテ、相當多額ニ輸入セラレルヤウニ相成テ參リマスルシ、又ハ内地ノ産業ノ關係カラ申シマシテモ、特ニ是等ノ品物ニ對シテ適當ナル特別ノ税ヲ盛ルコトが必要デアルト云フ風ニ考ヘマスモノニ付キマシテハ、之ヲ其號ヨリ引出シマシテ、別ニ其呂目ヲ特掲ヲ致シマシテ、適當ナ

ニ付キマシテハ、是ハ算出ノリ今日ノ價格ニ對スル算出ノ率ガ、極メテ區々ニ相成リマスルモノニアリマスルガ、而モ從量稅モノモ多少アルノデアリマス、是ハ全體カラ見マスルト云フト、八百三十二相成ツテ居リマス、若クハ…衆議院ノ修正デニツバカリ引上ダラレテ居リマスカラ、ソレダケ減リマスルガ、提案ニ於キマシテハ八百三十、此全體ノ五十「パーセント」ト云フモノガ現行ノ据置ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此据置キマシタ物ニ付キマシテハ、是モ先程申述ベマシタヤウニ大體内地ニ於テ、ソレ等ノ物ハ生産ガ相當ニアル、ソレ故ニ或ハ下ダテモ…下ダルコトガ或ハ必要デアルト云フ風ニ考ヘラレマスル物ニ付キマシテモ、此物ガ尙ホ…チヨット今違ヒマシタ、内地ニ生産ガアルノデアリマスルカラ、相當ニ之ヲ保護スル爲ニ或ハ稅率ヲ引上ダナケレバナラヌト云フ風ナ、一面ニハ議論ガ出ルベキモノニ付キマシテハ、内地ニ於キマスル、ソレ等ノ物ノ消費率ヲ引上ダナケレバナラヌト云フ風ナ、一カ云フ風ナ、又此工業用ニ必要ナル消費物デアルカト云フ風ナ關係ヲ考慮イタシマシテアリマストカ、「フォルマリン」デアリマストカ、或ハ「バルブ」デアリマストカ、銅、ナイデ据置クト云フ風ナモノモアリマス、例ヘハ漆デアリマスルトカ、或ハ醋酸石灰デアリマストカ、「フォルマリン」デアリマストカ、或ハ「バルブ」デアリマストカ、併ナガラ尙ホ之ヲ引下ダル…十分ニ出來テ居ルノデアリマスガ、引下ダルト云フコトハ、内地ニ惡イ影響ヲ及ボス虞レガアリマノ産業上ニ惡イ影響ヲ及ボス虞レガアリマ

ス、暫ク之ヲ据置ク方ガ適當デアルト云フ
風ニ考ヘラレマスモノアルノデアリマ
ス、是ハ或ハ一例ヲ舉ダマスレバ、羊毛製
斯機械、石油機械ニ於キマシテ小型ノモ
デアリマストカ云フ風ナ、或ハ硝子板ノ或
種類ノモノデアリマストカ云フ風ナモノモ
アルノデアリマス、又特殊ノモノニ付マシ
テハ、是ハ据置キマシタノハ「ミシン」ノ
縫衣機トカ、或ハ白金製ノ掛場ト云フヤ
ウナモノハ、是ハ特殊ナモノデアリマ
ス、是モ据置イテ居ルノデアリマス、大
體、此御承知ノ通り、制定當時ニ比較シ
マスレバ、今日ハ物價ガ非常ニ變ツテ居
ルノデアリマスカラ、從價稅ヲ適當ニ他ト
ノ權衡ヲ取リマスト云フト、相當ニ上ル
ベキモノモアルノデアリマスガ、併ナガ
ラ稅率ヲ盛リマス上ニ於テ、一面ニ於キ
マシテ内地ノ產業ヲ考ヘマスルト同時ニ、
又一面ニ於キマシテハ内地ノ消費ト云フ
方面モ考ヘマシテ、兩方ノ調和ト云フ
コトモ必要デアルノデアリマスカラ、從テ
據置キマシタモノニ付キマシテモ、其從價
稅ヲ割出シマスト云フト、極メテ微々タル
モノニ相成ルモノモアルノデアリマス、是
ハ併ナガラ前申上ダマスヤウナ理由ヲ以チ
マシテ、從量稅率其モノガ今日之ヲ變更シ
ナイコトガ適當デアラウト云フ風ニ考ヘマ
シテ盛ンテアルノデアリマス、又此輸出ノモ
ノニ付キマシテハ、成ルベク之ヲ減免スルト云
廉クシ、生產條件ヲ有利ニシナケレバナラ
酸化「チタニウム」デアルトカ、或ハ漂白イタ
シマシタ平織ノ亞麻布ノ如キモ現今輸入ヲ
フ方針ヲ採シテ居ルノデアリマス、例ヘバ
致シマシテ、之ニ加工シテ輸出ヲ致シテ居

リマスモノノ範圍ガ多少擴張ヲ致スコトガ
今日ノ實際ニ合ツテ輸出ノ獎勵ニ相成ルト
考ヘマシテ、其範圍ヲ擴ゲテ居ルノデアリ
マス、或ハ水晶ノ原石ニ付キマシテ内地ニ
原石ヲ入レマシテ、加工シテ海外へ輸出ヲ
致シマス所ノ水晶ノ原石ト云フヤウナモノ
ヲ廉ク致シマシテ、或ハ「アンペラ」袋トカ
棕櫚竹ト云フヤウナモノハ之ヲ減税スルト
云フヤウニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ
其他有税品ヲ無税ニ致シマシタモノハ、内
地デ出来マセヌ、或ハ工業用ニ必要ナル物
ト云フヤウナモノデ、或ハ硝酸「ナトリウ
ム」或ハ硝酸「セリウム」デアルトカ、或ハ
「ロヂウム」鹽類、或ハ木精デアリマスト
カ、色ニナ修酸デアリマストカ云フヤウナ
モノモ、之ヲ無税ニシマシタモノモアルノ
デアリマス、ソレカラ嗜好的ノ消費イタス
モノニ付キマシテハ、相當適當ト高イ率ヲ
盛ツテ居リマシテ、尙ホ海外カラ輸入ヲス
ルト云フコトヲ助長ヲシナイト云フ風ナ考
フ以テ適當ニ稅率ヲ盛ツテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ附加ヘテ申上げマスルノハ、今回
ノ改正ニ付キマシテ稅關ノ取扱ノ上カラ申
シマシテモ、又稅率ニ依リマシテ内地ノ產
業ヲ保護スルト云フ目的ニ副ヒマスル點カ
ラ申シマシテモ、成ルベク從價稅品ヲ從量
稅品ニ致シタイト云フ考ヲ以テ調査ヲ致シ
マシタノデアリマスルガ、結果カラ申シマ
スト云フト、御手許ニ參考トシテ差上ダタ
内ニモアリマシタコトト考ヘマスルガ、割
合ニ從量稅品目ガ増加ガ少イノデアリマ
ス、併ナガラ是ハ今マデ、別號ニ掲ゲザ
ルモノト、シテ居リマスルモノヲ撤回ヲ致
シタト云フ風ナモノガ的確ナル…正確ナ
ル輸入價格ト云フモノヲ算出スルコトガ困
難ナ爲ニ從量稅ニ直スコトガ出來ナカツタ
ト云フ風ナモノモアリマスルノデ、其結果

サウナリマシタガ、出來ル限り是ハ從量稅ニ改メル、方針ヲ以テ致シタノデアリマス、即チ適當ナル輸入價格ヲ得ラレマスモニ付キマシテハ、成ルベク之ヲ從量稅ニ付キマシタノデアリマス、ソレカラ尙大正十四年ノ法律一號ヲ廢止イタシテ當トノ間ノ協定ガ無クナリマシタ結果ト致シ

マシテ、鐵板ニ關シマシテ應急ノ必要ナル

稅率ヲ定メマシテ御協賛ヲ仰イダモノデア

リマスルガ、之ニ付キマシテハ今回此別表ノ

中ニ一總テ現在ノ狀況ヲ考慮イタシマシ

テ別表ノ中ニ之ヲ取入レタノデアリマス、從

テ此特別法が必要ガ無クナリマシタノデ、

之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、

ソレカラ是ノ適用ニ付キマシテハ、幸ニ御

協賛ヲ得マシテ公布セラレルコトニ相成リ

マシタ時ニ於キマシテハ、直チニ其日ヨリ新

法ニ依リマシテ課稅ヲ致スト云フ考ヲ持

テ居ルノデアリマス、何等ノ、其間ニ於キ

マシテ猶豫ノ期間ヲ置キマセヌ積リデアリ

マス、唯、外國カラ參フテ居リマスル品物

ニ於キマシテ施行ノ日ノ前日マデニ内地ノ

何レカノ港ニ著キマシテ、即チ其物ノ仕

向港デアリマセヌデモ、内地ニ於キマスル

何レカノ港ニ到着ヲ致シマシテ、申告ヲ致

シマシタモノニ付キマシテハ尙ホ舊法ニ依

ルコトニ致シマスルガ、其以外ニ於キマシ

テハ、新法施行ノ日以後ニ申告イタシマシ

タ物ニ付キマシテハ、一切新法ニ依テ適

用スルト云フコトニ致ス考デアリマス、大

要申上ダルコトハ以上ノ通リデアリマス、

尙ホ申落シマシタコトハ、御尋ニ依テ申

上ダル積リデアリマス、各品目ニ付キマシ

テハ御審議ノ時ニ御尋ニ應ジテ御説明ヲ申

上ダマス

マスガ

○男爵東郷安君 私ハ議事ノ進行ニ付テ御

協議ヲ願ヒタイト思ヒマス、段々御覽ノ通

リ非常ニ浩翰ナル範圍ノ條文デゴザイマシ

テ、關係各省モ可ナリ數モ多クアリマス

シ、種々ノ方面ニ關係ヲ有ツテ居リマスカ

ラ、之ヲドウニカ、適當ナル方法ニ依ッテ、

成ルベク御互ニ時間ヲ經濟的ニ使テ行ク

方法、若クハ議事ノ進行ヲ圓滿ニスル方法

ヲ、之ヲドウニカ、適當ナル方法ニ依ッテ、

ノ議場デモ申サレタシ、此席上ニ於テモ大

藏當局者カラ御陳述ガアッタ上云フコトデ

アルノデアリマス、矢張リ其方針ニ基キマ

シテ、此農產物等ニ付キマシテモ、大體、

アルトカ、或ハ小麥デアルトカ云フヤウナ

モノノ稅率ヲ決メルト云フコトヲ致シタノデア

リマス、農產物ノ中ニ主要ノ食糧品、米デ

置、中ニハ農產物モ色ニゴザイマスルガ、

現在ニ於テ無稅ノモノハ矢張リ無稅デアル

モノモ多イノデアリマス、輕ク稅率ヲ盛テ

居ルモノハ矢張リ其程度デ据置クト云フ風

ニ致シテ參ッタノデアリマス、但シ同ジ農

產物ノ中ニ於キマシテモ、思フ程、内地ニ

於テノ生產ノ十分ニ見込ノ立タヌモノ、是

ハ矢張リ輸入ニ俟ツノ外ハナイ、斯ニ云フ

ヤウナ數種ノ品物ニ付キマシテハ、是ハ矢

張リ今回ノ改正案ニ依リマシテ、現行稅率

ノ方針デアリマスルガ故ニ、例ヘバ米及穀

ノ關稅或ハ小麥ト云フヤウナモノモ政府ノ

案ト致シマシテハ現行據置ト云フコトニ

ナッテ居タノデアリマス、ドノ位ノ程度ガ

果シテ適當デアルカト云フコトハ、色ニ此

調査ノ結果ニ基イテ細カク御話ヲシナケレ

リマスガ、餘リニ稅率ヲ高クシテ、ソレガ

物價ニ影響ヲシ、其生活必需品ノ値ガ高ク

ナルト云フコトハ、一般ノ消費者ニ對シテ

非常ニ重イ負擔ヲ被セルト云フコトニナル

ノハ甚ダ宜シクナイ、ソレデアルカラシテ

一方ニハ生產ノ保護スルト云フ說モアルケ

レドモ、丁度生產者ト消費者ノ兩方ノ調和

ヲ取シテ、或ル程度ハ生產ノ保護ト云フコ

ニモ考ヲ及ボサナケレハナラヌ、一方カ

ラハ消費者ノ利害モ考ヘナケレバナラヌ、

シナイデ、現行稅率據置ト云フコトデ行ク

コトガ餘程適當デアラウ、適當デアラウ、

率ヲ決メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、唯申シマスル如ク、農村ノ經濟ハ頗ル不如意デアル、農村ノ保護ト云フコトハ非常ニ今日ハ急務デアルト云フ說ノ非常ニヤカマシイ場合デモアリマスノデ、此農產物ノ保護ト云フ說ニ對シマシテモ相當ノ考慮ヲ致シタル結果、前私ガ繰返シテ申上ダマシタカラ消費者ノ方ト云フコトニモ偏セズ、雙方ノ間ヲ十分調和シテ適當ノ稅率ヲ定メルト云フコトニシタイト云フコトニ致シタノデアリマス、主タル問題ト致シマシテハ、小麥、之ニ伴ウテ小麥粉デアリマスガ、是ハ衆議院ニ於テ修正セラレテ稅率ガ高クナックタ、最初ノ政府案ハ現行据置ト云フコトデ、政府ハソレヲ適當ト認ヘタニモ拘ラズ、衆議院ハ之ヲ修正シテ稅率ヲ高クシタ、ナ疑ヲ起サル、カモ知ラナイノデアリマス、斯、政府ハ此衆議院ノ修正ニ對シテハ同意ヲスル、斯様ニ申シタノデアリマス、小麥ノ七十七錢ヲ一圓五十錢ニ引上ダタ、是ハ最初ノ政府ノ考ニ依リマスレバ、現行稅率ノ据置ト云フコトガ、先づ適當ノ所デ引上ト云フコトニ修正ヲセラレタ、チヨット政府ノ最初ノ方針ト其點ガ違ラテ居ルヤウニモ思ハレルノデアリマスケレドモ、併シ今政府トシテ考ヘマスレバ、現行据置デ行シテ、一般生産者ト消費者トノ間ノ調和テハ、此位ノ稅率ヲ上げタ所デ、サマデ甚シク消費者ヲ脅スト云フ程ノ程度デモナ

イ、而モ是ダケノ税率ヲ上ゲルト云フコトハ、農民ノ爲ニハ多大ノ是ガ保護トナッテ、小麥ノ生産ヲ増加セシメルト云フ點ニ於テ云フコトノ出來得ル途ガ立ツデアラウ、即座ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイニシテモ、相當、政府トシテモ此小麥ノ増殖ト云フコトニ付テハ色ニ計畫ヲ致シテ居ルノアリマスカラシテ、ソレト相伴ウテ、小麥ノ價格ヲ維持スルト云フコトガ將來ノ生産増殖ノ途ニナルデアラウ、サウスレバ今多少ノ茲ニ小麥ノ關稅ヲ引上ゲルト云フコトニシテ見テモ、ソレガサマデ大シタ影響ガ消費者ニナイ以上ハ、是ダケ位ノ程度ノ保護ヲスルト云フコトハ、別ニ差支ナイデアラウト云フ、一ツノ見方ナンデアリマス、斯、是モ無論、一理アルト信ジマス、政府ト致シマシテモ此小麥ノ生産ノ增加ヲ圖ルト云フコトニ對シテハ、今當ニ力ヲ致シテ居ル際デアリマスカラ、非常ニ之ヲ引上ゲルト云フコトニナリマスレバ、最初ノ方針ヲ動カスコトニナルノデアリマスガ、先づ無稅デアタモノヲ有稅ニスルト云フノデハナクシテ、現ニ有稅デアル、ソレヲ少シ引上ゲルト云フコトニナルノデアリマスカラ、餘り大シテヒトイ引上ト云フ程度デモナインデアリマス、調和ヲ取ルト云フコトニ付テ、必シモ以前ノ方針ニ背アリマス、是等ノ點ハ能ク御諒解ヲ仰ガナカヒテ、率ニ引上ゲラレタト云フ結果ニナッテ居リ

マス、今一ツ申上ダマスレバ鳥卵デアリマス、是モ衆議院デ修正ノアッタ點デアリマス、ナノデアリマス、政府ノ案ハ鳥卵ノ税率ヲ少シ下ダルト云フ原案デアッタノデアリマス、下ダルト云フコトニシナクテモ、現行税率据置デ宜カラウト云フノガ衆議院ノ修正ノ意見デアッタノデアリマス、是モ唯同ジ例ナノデアリマシテ、鳥卵ガ支那カラ澤山入ッテ來ル、是ハ矢張リ生活ノ必要品トシテ、ドウモ消費スル鳥卵ノ量ガ足ラナイノデアリマスカラ、今外國カラ入ッテ來ルト云フモノヲ餘リ税ヲ高クシテ防グト云フト云フコトニ付テハ、段々内地ノ農業家ノコトハ宜シクナイ、鳥卵ノ值ヲ餘リ高クスルト云フコトモ宜シクナイカラ、先ツ寧ロ是ハ多少引下ダテヤッタガ宜カラウト云フノガ最初ノ政府ノ案デアッタノデアリマス又一方カラ申シマスレバ近頃、此卵ノ生産ト云フコトニ付テハ、段々内地ノ農業家ノ一つノ副業トシテ、盛シニ此事業ヲ行、テ居ル、而シテ政府モ亦之ヲ獎勵ヲ致シ居ルヤウナ場合デアリマスノデ、矢張リ農民ノ手許カラ申セバ此鳥卵ナドニ對シテモ、唯今幾ラカ保護スルト云フコトニスレバ、將來、此農家ノ副業トシテノ此仕事ヲ助長スル上ニ於テ非常ニ效果ガアルデアラウ、斯ウ云フ説ニモ一理アルノデアリマス、是モ非常ニ引上ダルト云フノデハナクシテ、先ツ衆議院ノ修正ノ案ガ現行ノ税率ヲ据置クト云フコトデアルノデアリマシテ、大體ニ於テ此位ノ程度デアレバ、矢張リ政府ノ方針トシテ雙方ノ調和ヲ取ルト云フ其方針ヲ動クスト云フコトニモ當ラヌデアラウ、斯ウ云フ意味ニ於テ是モ政府ハ此修正ニ同意ヲスルト云フコトヲ申シタノデアリマス、

大體、斯ウ云フヤウナ譯デ總て決メラレテ居ルノデアリマシテ、前カラ申シマスル通論議セラレテ來タノデアリマス、ガ、ドレニ致シマシテモ大概多クハ此生活必需品ト云フコトニモナツテ居ルノデアリマス、併シ一方カラ申セバ、矢張リ是ハ一ツノ農產物トカ、或ハ水產物トカニシテモ、マルデ之ヲ無税ニスルトカ何ントカ云フヤウナ風ノ譯ニハ行カヌ、一方ニ向ツテハ農業ニ對シ、或ハ水產業ニ對シ、畜產業ニ對シテモ、相當ノ補助ハ矢張リシナケレバナラヌモノガ澤山ニアルノデアリマスカラシテ、此雙率ヲ定メルト云フコトニ付キマシテハ、其雙方ノ間ノ能ク調和ヲ圖ルト云フコトヲ隨一ノ目的トシテ、實ハ此改正ノ率ヲ定メタ次第アラウト思フノデアリマスガ、先づ農產物等ニ對シマシテノ此關稅率改正ノ大體ノ方針ト申シマスルカ、此稅率ヲ定メマシタル根本ノ趣旨ハ唯今申シタ通りデアリマス、一應是ダケヲ私カラ申上ダテ置キマス○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御相談申シマスガ、書マデニ時間ガ餘リ無イノデアリマスカラ、私ハ此邊デ止メタイト思ヒマス、午後ハ如何デアリマセウカ○内田嘉吉君 私ハ商工大臣ニ、唯今農林大臣カラ御詫ニナツタヤウナ程度ノ御詫ダケヲ今伺ツテ置クト云フコトガ宜シクハイカト思ヒマス、サウシテ尙ホ私ハ昨日委員ニナツテ、夜ニナツテ承知シマシタヤウナ譯デ、未ダ研究シテ居リマセヌ○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ明日ニナツテハ如何デセウ、商工大臣ハ少シ長

クナルト云フ御詫デスガ、明日ニ致シマシ
テハ如何デセウ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ是デ
散會イタシマス、明日ハ午前十時ニ開會イ
タシマス

午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君
副委員長 男爵斯波忠三郎君
委員 子爵大河内正敏君
子爵八條 隆正君
子爵渡邊 千冬君
犬塚勝太郎君
和田彦次郎君
内田 嘉吉君
神野勝之助君
誠之助君
男爵東郷 安君
倉知 鐵吉君
中川小十郎君
内藤 久寛君
稻畑勝太郎君
磯貝 浩君

國務大臣

農林大臣 早速 肇爾君
商工大臣 片岡 直溫君

政府委員

外務省條約局長 長岡 春一君
大藏省主税局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君
農林政務次官 小山 松壽君

商工政務次官 棚瀬軍之佐君
商工參與官 野村 茂六君

商工省工務局長 宮内國太郎君
商工書記官 侯爵木戸 幸一君

遞信政務次官 賴母木桂吉君

大正十五年二月十三日印刷

大正十五年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局